

日中ジャーナリズム研究 三大学合同シンポジウム

第一回

メディアの 社会的責任



開会挨拶
9:30~9:45

総合司会 土屋礼子 (早稲田大学政治経済学術院教授)
挨拶・コメント 山本武利 (早稲田大学名誉教授)
団長・挨拶 李双龍 (復旦大学新聞学院副院長、副教授)
団長・挨拶 鐘以謙 (伝媒大学広告学院副院長、教授)

第一セッション
9:45~11:45

張殿元 (復旦大学新聞学院副教授)
メディアの社会的責任
～ポーターボックス理論における東日本大震災の中日新聞報道
瀬川至朗 (早稲田大学政治経済学術院教授)
福島第一原発事故と全国紙の報道
～原発報道は「大本営発表」だったのか
謝静 (復旦大学新聞学院教授)
ジャーナリズムとメディア組織の規範
～記者ミニブログの社会的責任について
顧錚 (復旦大学新聞学院教授)
視覚伝達分野における突発事件とメディアの社会的責任
～上海『東方早報』2008年四川大地震と
2011年東日本大震災の紙面レイアウトを例として

—— 昼食 (11:45~13:00) ——

第二セッション
13:00~15:00

劉英華 (伝媒大学広告学院教授)
改革開放以降の婚活番組と中国人の結婚に対する価値観
芦影 (伝媒大学広告学院助教授)
デザイン批判の社会的責任について
王洪亮 (伝媒大学広告学院講師)
広告デザインとメディアの社会的責任
田中東子 (早稲田大学政治経済学術院非常勤講師・
十文字学園女子大学人間生活学部准教授)
娯楽メディアと社会的責任

—— 休憩 (15:00~15:20) ——

第三セッション
15:20~17:20

何輝 (伝媒大学広告学院教授)
中国と欧米のメディア責任意識の原点、変遷と相違
高橋恭子 (早稲田大学政治経済学術院教授)
ジャーナリズム再生に挑戦する米国のNPOメディア
梅森直之 (早稲田大学政治経済学術院教授)
占領中心史観を超えて：中国、アメリカ、高度成長

2013年
6/23 日

時間 ※18:00からレセプションあり

9:30~17:30

場所

8号館 3階 308号室
入場無料・予約不要



主催：早稲田大学・復旦大学・中国伝媒大学
協力：早稲田大学孔子学院